

NO 4	「厚生会館地区整備プロジェクト」省CO ₂ 推進事業	長岡市		
提案概要	長岡市は、JR長岡駅に近接した「厚生会館地区」において、「市民協働型シティホール(仮称)」の整備を進めている。空間の中心にガラス屋根で覆う“ナカドマ”を配置し、内外を一体利用できる多様性に富んだ新しい公共空間を創造する。木材の地産地消、歴史・文化を反映した公と民のモザイクによる空間構成も特徴で、ヒートアイランド防止の屋上緑化、通風等のパッシブ構造、地場産天然ガスを活用した民間エネルギーサービス事業によるコージェネレーション等、「省CO ₂ 型のサステナブル建築」と「省CO ₂ の波及性」を重視したプロジェクトである。			
事業概要	部門	新築	建物種別	建築物(非住宅)
	建物名称	市民協働型シティホール(仮称)	所在地	新潟県長岡市
	用途	事務所/集会所/工場	延床面積	35,380 m ²
	設計者	隈研吾建築都市設計事務所	施工者	(未定)
	事業期間	平成21年度～平成 23年度		

概評	長岡市が整備する複合施設「市民協働型シティホール」であり、雪国の資源活用を意図したナカドマやその複合的パッシブコントロール(日射、風、太陽光発電)、長岡で産出されている天然ガスを活用した高効率コージェネレーションシステム、市民の集まるナカドマ空間を活用した省CO ₂ の情報発信や参加型環境教育の実現など、地域性に富んだ自治体主導型省CO ₂ モデルとして評価できる。その意匠デザインに注目が集まる建築であることから、隣接するホテルの取り組みとも連携し、長岡市が主体となって省CO ₂ の情報発信を積極的に展開することを期待する。
----	--

参考図

